Nepal 01

ネパールともっと×5友だち!

波多野 拓有
高知県高知市立追手前小学校

●実践教科等／生活科
●時　間　数／15時間
●対 象 学 年／小学2年生
●対 象 人 数／46名

ココが素晴らしい!
図書室にあった本のネパール人の少女を探しに行く、という目的を持ってネパール研修に参加したアイディアと行動力が素晴らしい。国語の教科書を活用した点や、子どもの興味をひきつける導入方法も参考にできます。

❖カリキュラム

【実践の目的】　本校では総合的な学習の時間の中で、週に2時間英語の授業が行われている。総合的な学習の位置付けが無い1・2年生においても生活科、または国語科の学習内容の一部として英語活動が週1時間程度取り入れられている。その中では英語を言語として学ぶことはもちろん、英語圏の国の文化理解についても体験型の学習を行っている。確かに、英語は母国語ではなくとも公用語として通用する国があるなど、世界の多くの地域で話されており、日本においても英語に触れる機会は近年増えてきている。したがって、英語を学ぶことは生活上役に立つことが多いと考えられるが、日本から見ての外国像が英語文化に偏ってしまうことへの不安も感じなくはない。そこで、ネパールで体験してきたことを教材に、英語文化以外の異文化理解を通して国際理解教育を推し進めていきたいと考えた。さらにそこから、児童が世界の様々な国の文化を調べ、それをお互いに発表しあうことによって、より幅広い世界観を持たせようと今回の学習を設定した。

❖授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1・2	**ネパールの子どもたちと暮らし【生活科】** ネパール語の挨拶や学校の様子、遊びや家での仕事など、子どもたちの暮らしぶりを知ることでネパールについて親しみと関心を持つ	①世界地図でネパールと日本の国の位置を知る ②ネパール語のあいさつを学ぶ ③学校の様子を知る ④お手伝い(家庭での仕事)について知る ⑤遊びを知り、実際にやってみる	・世界地図 ・研修中配布資料 ・書籍「旅の指さし会話帳ネパール」 ・写真、映像、現地で頂いた教科書やテスト用紙、横先生制作DVD ・写真、映像
3～5	**ネパールの国の特色と文化【生活科】** 国の特色や文化を知ることから、日本との違いや共通点を感じ、ネパールへ親しみを持つ	①ネパールとその周辺の国を知る ②国の特色を知る ③ネパール語で自分の名前を書いたり、数字を読んだりする	・世界地図 ・写真、映像、JICA資料、現地通貨 ・絵葉書、現地調達壁掛け資料など ・書籍「旅の指さし会話帳ネパール」 ・現地調達書籍「にほんごをはなしましょう」
6・7	**ネパールと日本のつながり【生活科】** ネパールに対する青年海外協力隊やシニア海外ボランティアなどのJICAの事業やNGOや個人、団体、国の支援などについて知り、ネパールと日本との深いつながりを意識する	①日本がネパールに対し、何のためにどんな支援を行っているかを知る ②日本とネパールのつながりを知る ③就学支援の必要性とその内容を知る	・写真、映像、研修中配布資料 ・日本・ネパール国交樹立50周年記念DVD ・JICAリーフレット「学校に行きたい!」
8・9	**ネパールのおやつ【生活科】** ネパールのおかしと飲み物を自分たちで作り、味わうことでネパールの食文化への理解を深める	①「ベダ」の作り方を知り、グループで協力して作る ②「フルーツ・ラッシー」の作り方を知り、グループで協力して作る ③できた「ベダ」と「フルーツ・ラッシー」を味わう	・書籍「私のネパール菓子」
10～15	**世界の国について調べよう【国語科】** ネパールについて学習した内容を基に、自分たちも任意の国の国旗や特色、文化を調べていくことで、さらに異文化への関心と理解を深める	①ネパールについて書かれた本の読み聞かせを聞く ②学校の図書室にある本の世界が現実の世界とつながっていることを知る ③任意の国を選び、国旗や国の特色、文化などについて調べ、ワークシートにまとめる ④それぞれがまとめたものを発表し合う ⑤青年海外協力隊OBの話を聞き、異文化への関心と理解を深める	・書籍「世界の子供たち10ネパール」

❖授業の詳細

1・2 時限目 ネパールの子どもたちと暮らし

①世界地図でネパールと日本の国の位置を知る。
②ネパール語のあいさつを学ぶ。(ナマステ、ナマスカール、サンチャイチャ(タパイライ)、ダンネバード、モタウヌボ…)
③写真や映像、実物などから学校の様子を知る。(教室、学習の様子、教科書、給食、運動場、遊具、テストなど)
④写真や映像から子どもたちのお手伝い(家庭での仕事)について知る。(子守り、水くみ、洗濯、児童労働など)
⑤ネパールで行われている遊びを知り、実際にやってみる。(表裏じゃんけん、カバディ)

児童の感想より

わたしはネパールの子どもたちの中には学校に行けない子どももいてかわいそうと思いました。

ネパールの子どもは家のしごとの水くみやせんたくがすごく上手だったのでえらいと思いました。

ネパールでは学校とようちえんがつながっているなんてびっくりしました。

ぼくは男どうしと女どうしがかたを組むとは知りませんでした。みんななかよしなんだなあと思いました。

ネパールはおどりがすきだなんてたのしい国だと思います。わたしもおどりは大すきです。

わたしは「カバディ」がおもしろかったです。どうしてかと言うと、あいてがまもる人のだれをタッチするかわからなくてドキドキするからです。

うらおもてじゃんけんはまるでパーのじゃんけんみたいです。カバディもけいどろにほんとうによくにています。

ネパールにはじゃんけんがないなんて知りませんでした。その代わり、おもてうらじゃんけんがありました。おもしろいあそびがあるんだなと思いました。

ナマステはべんりなあいさつなのです

エク、ドゥイ、ティン!かちはだれかな?

〈所感〉

今回の研修での単なる観光では得られない貴重な体験を自分が感じたままに子供たちに伝えたいと考えて授業を構成することにした。対象が小学校の2年生であり、あまり専門的なことを伝えようとしても無理があるので、ネパールの子どもたちの姿や様子を中心に写真や映像、音声や実物を交えて伝えることにした。

子どもたちの世界観はやはり欧米圏に偏ったものであり、英語文化が主な外国像であった。そんな中、ほとんど未知の国であるネパールの生きた情報はとても興味深かったようで毎回の授業を楽しみにしてくれていた。加えて吸収力も強いため、ネパールの挨拶を教えると、授業の始めには「ナマスカール、サンチャイチャ〜」と教室に入って来、終わりには「ナマスカール、ダンネバード」と両手を顔の前で合わせて教室を出ていくのである。この他にも、ネパールのさまざまな国の様子や特色、文化を伝えたが、どれも素直に受け入れてくれていたのがうれしかった。

3〜5 時限目 ネパールの国の特色と文化

①ネパールとその周辺の国、およびその位置関係を知る。
②国の国旗や特色、文化を写真や映像、音声を通して知る。(国旗、国歌、国鳥、国花、言語、人口、面積、民族、地形、気候、食事、エベレスト、ブッダ、お寺、お金、楽器、町の様子など)
③ネパール語の文字と数字を知り、自分の名前を書いたり、数字を読んだりする。

児童の感想より

バイクとか車とかバスがどうろを通ってきつきつになりながら行っていたのでびっくりしました。あんなのでどうしてこうつうじこにならないんだろうと思いました。

車でいっぱいのどうろをネパールの人たちがへいきでわたっているのでびっくりしました。

バイクに4人ものっていて、けいさつにつかまらないってすごいなと思いました。

ぼくはネパールの人が力もちとわかって、へーと思いました。年よりの女の人がすごくおもそうな草をもっていました。すごくびっくりしました。

ぼくはネパールの国はいいなと思いました。わけはエベレストがあるからです。

今日のべん強で大きく3つのことがわかりました。1つ目はみちばたでお店をやっていること。2つ目はどうろに自てん車やバイクや車があふれそうなことです。3つ目は朝からばんまでほとんど食べるものがカレーなことです。

いっぱいカレーを食べることにびっくりしたし、毎日カレーを食べていることにもびっくりしたよ。

ネパールのおさつにどうぶつがのっていることがわかりました。

ネパールもインドとおなじで牛がかみさまだったってことがわかってうれしいです。

ネパールの字がむずかしかったけど、自分の名前と今日の日にちを書きました。もっとネパールと友だちになった気がするよ。

ネパールと日本はいっしょの数字と思っていたけど、ちがうことがわかりました。ネパールの1という数字が日本の9という数字ににているなと思いました。

ネパールの九九もとてもむずかしかったです。カレンダーの数字がだんごににていました。

もしもネパールの人に会えたら「ナマスカール」「サンチャイチャ」と言いたいです。

ネパールはカレーをよく食べるんだね

ネパールの文字をつかってみたよ

〈所感〉

文字を教えた時には、家でも熱心に書いてくる子がいたり、数字の数え方など私は「エク、ドゥイ、ティン」しか覚えていないが、40まで数えられるようになったと報告してくれる子もいたりした。また、お菓子と飲み物作りについてもレシピを配ったら家でその日に作った子もいて、子どもたちの新しい世界への関心の高さに驚かされることが多くあった。

6・7 時限目 ネパールと日本

①現地で撮影した青年海外協力隊やシニア海外ボランティア、JICA所員などが活動している写真や現地で入手した資料から日本がネパールに対し、何のためにどんな支援を行っているかを知る。

②DVDを視聴し、過去から現在までの日本とネパールのつながりを知る。

③JICAリーフレット「学校に行きたい」を読み、就学支援の必要性とその内容を知る。

日本のはたがたくさんあるね

水はとても大切なんだね

児童の感想より

ネパールと日本は友だちだなと思いました。なぜかと言うと、日本からいろんなものを送っているからです。

わたしはネパールで日本がかつやくしていることがわかりました。

ぼくは日本の人がいっぱいものを作ったことがすごいなあと思いました。ネパールと日本はなかよしってわかってうれしかったです。

ネパールにあるしんごうきも日本からおくられてきたことがわかりました。

ネパールにはネパールの人だけと思っていたけど、日本の人もたくさんいることがわかりました。

ネパールにきょう力して学校や工場の手つだいをしている日本人はえらいと思いました。

ネパールのふつうのおふろの水がなにも入れていないのにきたない色だからかわいそうに思いました。そんな水をきれいにするのに日本の人ががんばっているのがすごいと思いました。

学校に行けなくてはたらいている子どもがたくさんいるんだなとしってかわいそうと思いました。

8・9 時限目 ネパールのおやつ

①「ベダ」の作り方を知り、グループで協力して作る。

②「フルーツ・ラッシー」の作り方を知り、グループで協力して作る。

③できた「ベダ」と「フルーツ・ラッシー」を味わう。

おいしくできるかな?